

鮮やかに表現する (1) 一年 組 番 名前

① 次に示すのは、ある文章を書き直す前（A）と、書き直した後（B）である。傍線部を読み比べて、書き直したことでどんな印象の違いがあるか、どんな表現の効果が感じられるかなど、気づいたことを書こう。

A 書き直す前	B 書き直した後
<p>先週、生まれて初めて飛行機に乗った。私が座ったのは、窓側の席だった。窓の下に見える雲は、とてもきれいで、広々としていた。</p>	<p>先週、生まれて初めて飛行機に乗った。私が座ったのは、窓側の席だった。窓の下に見える雲は、日差しを浴びて白く輝いていて、地球を包む大きな羽毛布団のようだった。</p>

書き直したことによる、印象の違いや表現の効果

② Bの傍線部をもとに、雲の景色を短い詩の形に書き改めてみたら、どんな詩になるだろうか。考えて書いてみよう。（題名も付けよう。）

③ 次の空欄に合った言葉を入れて、表現技法についての説明を完成させよう。

- ・あるものを別のものにとえて印象深く描き出す表現のことを [] という。なかでも、「ようだ」「みたいだ」などの言葉を使うものを [] とい、使わずにたとえるものを [] という。
- ・同じ語句や文を繰り返して用いることで印象を強める表現のことを [] という。

★ そのほか、さまざまな表現技法について、教科書246ページで確認しよう。